

キリスト教学ⅡA

1. 担当教員

- ・ 名前: 森田直樹(もりた なおき)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

キリスト教学Ⅰで修めた「私と世界」の学びから一步を踏み出して、宗教的事象である「キリスト教」について、より客観的な視点から学び、次年度以降に受講する「人間学」への架橋を行います。

(2) 到達目標

- ① コミュニケーションの基礎を確認することを通して、学ぶことの基本を自らのものとする。
- ② 聖書についての一般的な教養を身につけ、自分自身で聖書を読めるようにする。
- ③ イエスの思想(特に隣人愛の教え)を理解し、現代社会で生きる一つのチャレンジとして受け取る。

(3) ディプロマポリシーとの関連

本科目は人間学部のディプロマポリシー「1. 建学の精神に則り、キリスト教(カトリック)について理解しており、その精神に基づいた世界観や人間観及び知識・能力を身に着けていることを学位授与の条件とする。」に基づき、特にキリスト教(カトリック)、隣人愛についての知識の獲得を目指す科目である。

3. 授業の概要

皆さんにキリスト教信仰を押し付けるのではなく、できるだけ客観的な立場から、聖書について、キリスト教一般について、できるだけ分かりやすくお話することによって、幅広く学んでいただきたいと思います。聖書の背景となる地理的環境や歴史、イエス当時の社会的状況などにも触れながら、キリスト教が生まれてきた土台についても学んでみたいと思います。また、世界のベストセラーである聖書の言葉に直接触れて学ぶことを通して、西欧文化や本学の教育方針の基盤となっているキリスト教についての一般的な理解と幅広い知識を獲得することも目指します。また、同時に、この講義を通して、受講者一人一人がこれからの人生を生きていく上で指針となる方向性や、生きていくために助けとなる「みことば」を見つけていただければ幸いです。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	テーマ・内容	予習・復習	備考
1	4/12 オリエンテーション…キリスト教学への招き、単位取得について		プリント
2	4/19 学問とコミュニケーション…コミュニケーションの基礎を学ぶ		プリント
3	4/26 偏見と思い込みを超えて…より客観的な立場に立つことを学ぶ		プリント
4	5/10 キリスト教のイメージ…様々な地域の聖歌からその豊かさを学ぶ		CD
5	5/17 聖書の世界1…聖書が成立した地理的背景を学ぶ		スライド

シラバス(公開版)

6	5/24	聖書の世界2…三大宗教の聖地エルサレムについて学ぶ	DVD
7	5/31	聖書の世界観…旧約聖書における天地創造物語について学ぶ	プリント、テキスト
8	6/7	イスラエルの信仰1…エジプト脱出、イスラエルの信仰の根本について学ぶ	プリント、テキスト
9	6/14	イスラエルの信仰2…預言者たちの召命(イザヤ、エレミヤ)について学ぶ	プリント、テキスト
10	6/20	修養会	必ず出席のこと
11	6/21	イスラエルの信仰3…いつくしみの神(イザヤ)、正義の神(ミカ)について学ぶ	プリント、テキスト
12	6/28	聖書の基礎知識…聖書の成立過程や、聖書についての基本的な知識について学ぶ	プリント
13	7/5	イエスの教え1…DVDを通して、イエスの教えに触れる	DVD
14	7/12	イエスの教え2…DVDを通して、イエスの教えに触れる	DVD
15	7/19	試験の傾向と対策…キリスト教学ⅡA全体のまとめと試験対策について	必ず出席のこと
	7/26	定期試験	
予習・復習		予習は特に必要ありませんが、日常生活の出来事やニュース、毎日の人間関係などに注意を払いつつ、敏感にそれらを受け取ろうとする態度があれば、授業の助けになると思います。復習も特に必要ありませんが、積極的に授業に関わり、自分で考えてリアクション・ペーパーを書くことによって、毎回、自分なりの授業のまとめができると思います。	

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法(テスト、レポート、課題等へのフィードバックの方法も含む)

- ・ 試験(40%)…講義全体をまとめるために実施します。試験直前の授業には必ずご出席ください。
- ・ リアクションペーパー(60%)…毎回の授業中に、数回、しっかりと書いていただきます。従って、授業を途中で退出することや、途中からの参加はできません。リアクションペーパーは内容と分量の双方を評価します。欠席の場合は、リアクションペーパーの点が全く付きませんので、毎回の授業に出席されることを強くお勧めいたします。

6. 履修上の注意

受講に際して、心配や不安なことがある場合は、随時、担当者に相談してください。事情によっては、特別な配慮を行う場合があります。

6回以上欠席の場合は、原則として単位を与えません。実習・忌引き等、事情があつて遅刻・欠席・早退する場合は、必ずその都度、ご相談ください。